

平成 19 年 5 月 31 日

各 位

会社名：株式会社 あおぞら銀行
代表者：取締役会長 能見 公一
問合せ先：経理部担当部長 水野一郎
(コード番号：8304 東証第一部)

(訂正) 平成 19 年 3 月期 決算概要、平成 18 年度決算説明資料、
平成 19 年 3 月期 決算短信

平成 19 年 5 月 15 日 16 時 00 分に発表した標記開示資料について訂正がありましたので
お知らせします。

正誤表

平成 19 年 3 月期 決算概要 3 頁

Ⅲ. 連結自己資本比率 (国内基準)

誤) H19/3 末 [速報値]	自己資本 A	7,157	
正) H19/3 末 [速報値]	自己資本 A	7,142	
誤) H19/3 末 [速報値]	リスクアセット C	44,784	
正) H19/3 末 [速報値]	リスクアセット C	45,126	
誤) H19/3 末 [速報値]	自己資本比率 A/C	15.98%	
正) H19/3 末 [速報値]	自己資本比率 A/C	15.82%	
誤) H19/3 末 [速報値]	TIER I 比率 B/C	17.63%	
正) H19/3 末 [速報値]	TIER I 比率 B/C	17.50%	

平成 19 年 3 月期 決算概要 4 頁

Ⅳ. 金融再生法開示債権

誤) H19/3 末	総与信 ②	34,035	
正) H19/3 末	総与信 ②	34,064	
誤) 18/3 末比増減	総与信 ②	3,546	
正) 18/3 末比増減	総与信 ②	3,575	

9. 自己資本比率 (国内基準)

【連結】

(誤)

(単位：百万円)

	19年3月末		
	[速報値]	18年3月末比	18年9月末比
(1) 自己資本比率	15.98%	△3.49%	△2.76%
Tier I 比率	17.63%	△1.49%	△0.89%
(2) Tier I	789,707	71,730	24,551
(3) Tier II (算入額)	27,990	4,522	2,182
(イ) 一般貸倒引当金	27,990	4,522	2,182
(ロ) 負債性資本調達手段等	-	-	-
(イ) + (ロ)	27,990	4,522	2,182
(4) 控除項目	101,964	91,841	85,079
(他の金融機関の資本調達手段の 意図的な保有相当額)	-	-	-
(5) 自己資本 (2)+(3)-(4)	715,733	△15,589	△58,345
(6) リスクアセット	4,478,409	723,449	349,099

(正)

(単位：百万円)

	19年3月末		
	[速報値]	18年3月末比	18年9月末比
(1) 自己資本比率	15.82%	△3.65%	△2.92%
Tier I 比率	17.50%	△1.62%	△1.02%
(2) Tier I	789,707	71,730	24,551
(3) Tier II (算入額)	28,203	4,735	2,395
(イ) 一般貸倒引当金	28,203	4,735	2,395
(ロ) 負債性資本調達手段等	-	-	-
(イ) + (ロ)	28,203	4,735	2,395
(4) 控除項目	103,678	93,555	86,793
(他の金融機関の資本調達手段の 意図的な保有相当額)	-	-	-
(5) 自己資本 (2)+(3)-(4)	714,232	△17,090	△59,846
(6) リスクアセット	4,512,606	757,646	383,296

【単体】

(誤)

(単位：百万円)

	19年3月末		
	[速報値]	18年3月末比	18年9月末比
(1) 自己資本比率	16.14%	△3.41%	△2.86%
Tier I 比率	17.50%	△1.42%	△0.88%
(2) Tier I	785,812	71,353	24,591
(3) Tier II (算入額)	28,059	4,469	2,179
(イ) 一般貸倒引当金	28,059	4,469	2,179
(ロ) 負債性資本調達手段等	-	-	-
(イ) + (ロ)	28,059	4,469	2,179
(4) 控除項目	89,215	89,215	89,215
(他の金融機関の資本調達手段の 意図的な保有相当額)	-	-	-
(5) 自己資本 (2)+(3)-(4)	724,656	△13,394	△62,445
(6) リスクアセット	4,489,521	715,016	348,675

(正)

(単位：百万円)

	19年3月末		
	[速報値]	18年3月末比	18年9月末比
(1) 自己資本比率	15.98%	△3.57%	△3.02%
Tier I 比率	17.37%	△1.55%	△1.01%
(2) Tier I	785,812	71,353	24,591
(3) Tier II (算入額)	28,273	4,683	2,393
(イ) 一般貸倒引当金	28,273	4,683	2,393
(ロ) 負債性資本調達手段等	-	-	-
(イ) + (ロ)	28,273	4,683	2,393
(4) 控除項目	90,929	90,929	90,929
(他の金融機関の資本調達手段の 意図的な保有相当額)	-	-	-
(5) 自己資本 (2)+(3)-(4)	723,156	△14,894	△63,945
(6) リスクアセット	4,523,735	749,230	382,889

平成 18 年度決算説明資料 11 頁

5. 開示債権と引当・保全状況

誤) 金融再生法上の開示債権	(正常債権)	(33,705)
正) 金融再生法上の開示債権	(正常債権)	(33,734)
誤) 金融再生法上の開示債権	総与信額	34,035
正) 金融再生法上の開示債権	総与信額	34,064

平成 18 年度決算説明資料 16 頁

1. 連結自己資本比率について

誤) リスクアセット	2007 年 3 月期	44,784
正) リスクアセット	2007 年 3 月期	45,126
誤) 自己資本	2007 年 3 月期	7,157
正) 自己資本	2007 年 3 月期	7,142
誤) Tier 2	2007 年 3 月期	280
正) Tier 2	2007 年 3 月期	282
誤) 自己資本比率	2007 年 3 月期	15.98%
正) 自己資本比率	2007 年 3 月期	15.82%

平成 18 年度決算説明資料 17 頁

(2) 残高について (単体)

誤) ③要注意先債権	2007 年 3 月末	3,598
正) ③要注意先債権	2007 年 3 月末	3,602
誤) ①+②+③計	2007 年 3 月末	3,859
正) ①+②+③計	2007 年 3 月末	3,897

平成 19 年 3 月期 決算短信 1 頁

誤) 連結自己資本比率 (国内基準)	19 年 3 月期	(速報値) 15.98%
正) 連結自己資本比率 (国内基準)	19 年 3 月期	(速報値) 15.82%

平成 19 年 3 月期 決算短信 2 頁

誤) 単体自己資本比率 (国内基準)	19 年 3 月期	(速報値) 16.14%
正) 単体自己資本比率 (国内基準)	19 年 3 月期	(速報値) 15.98%

誤) 平成 19 年 3 月末の連結自己資本比率算定上の連結自己資本は、・・(中略)・・、156 億円減少し7,157 億円となりました。また、連結ベースのリスクアセットは、・・(中略)・・、7,234 億円 (19.3%) 増加し、4 兆 4,784 億円となりました。この結果、経営の健全性を示す自己資本比率(国内基準、速報)は、前連結会計年度末比3.49ポイント低下して15.98%となりました。

正) 平成 19 年 3 月末の連結自己資本比率算定上の連結自己資本は、・・(中略)・・、171 億円減少し7,142 億円となりました。また、連結ベースのリスクアセットは、・・(中略)・・、7,576 億円 (20.2%) 増加し、4 兆 5,126 億円となりました。この結果、経営の健全性を示す自己資本比率(国内基準、速報)は、前連結会計年度末比3.65ポイント低下して15.82%となりました。

以 上

追記 ニュースリリース 4 頁 3 段落目

誤) 自己資本比率規制上の連結自己資本は、自己資本控除となる項目が新規制によって増加した結果、平成 18 年 3 月末と比較して、156 億円減 (△2.1%) の7,157 億円となり、リスクアセットは貸出金等の増加及び新規制によるリスクウェイトの変更等の結果、4 兆 4,784 億円と、7,234 億円の増加(+19.3%)となりました。

この結果、連結自己資本比率は15.98%となり(平成 18 年 3 月末: 19.47%)、Tier1 比率は17.63%となりました(平成 18 年 3 月末: 19.12%)。いずれも資産の増加及びバーゼルⅡの影響により低下しておりますが、財務状態を示す主要計数であるこれらの比率は、大手邦銀の中で高水準を維持しています。

正) 自己資本比率規制上の連結自己資本は、自己資本控除となる項目が新規制によって増加した結果、平成 18 年 3 月末と比較して、171 億円減 (△2.3%) の7,142 億円となり、リスクアセットは貸出金等の増加及び新規制によるリスクウェイトの変更等の結果、4 兆 5,126 億円と、7,576 億円の増加(+20.2%)となりました。

この結果、連結自己資本比率は15.82%となり(平成 18 年 3 月末: 19.47%)、Tier1 比率は17.50%となりました(平成 18 年 3 月末: 19.12%)。いずれも資産の増加及びバーゼルⅡの影響により低下しておりますが、財務状態を示す主要計数であるこれらの比率は、大手邦銀の中で高水準を維持しています。